



<p>ねい い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戸外で思いきり走ったり、水や砂に触れて楽しむ。 ・ 水分補給をしたり、衣服の調節をして快適に過ごす。 ・ 保育者に見守られながら簡単な身の回りの事を自分でやってみようとする。 	<p>行事</p> <p>5.19 英語 12:避難訓練 14:身体測定 30:誕生日会</p>	<p>家庭連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持ち物の場所等保護者にわかりやすく伝える。 ・ 送迎の際や連絡帳で子供の園での様子等を伝え、日々信頼関係を築いていけるようにする。 ・ アレルギー、疾病の確認し情報を共有する。 	<p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どの子も遊べる様子を、フリックを配り、保護者に伝えることができた。 ・ 連絡帳や特に関心のある事については迎える時に直接保護者に伝えたり、特に入浴している児は、できるだけ様子を伝えるように気をつけていった。
<p>今月の内容 (養護・教育等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 梅雨の時期を快適に過ごせるようにする。 ・ 一人ひとりの排泄の間隔をつかみ、無理なくトイレに誘うようにする。 ・ スポンやオムツなどの簡単な着脱を自分でしようとする。 ・ 保育者に見守られながら安心して眠る。 ・ 自分の思いを言葉や態度で伝えてみようとする。 ・ 楽しい雰囲気の中ですすんで食事をする。 ・ 絵本や紙芝居を読んで面白いお話の世界を楽しむ。 ・ 戸外で水や砂に触れて遊び、開放感を味わう。 ・ 七夕の由来を聞き、製作を楽しむ。 	<p>環境構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気温が上昇してくるので、水分補給や衣服の調節をしながら、元気に過ごせるようにする。 ・ トイレや手洗い場などの清潔を保つ。 ・ スムーズに行えるようにオムツや着替えなど準備しておく。 ・ 布団の敷く位置や場所を一人一人に合わせて敷く。 ・ 感情を伝える言葉を保育士も積極的に使う。 ・ 落ち着いて食べる事のできる席順にする。 ・ 場面や季節に合ったお話のものを用意する。 ・ 水遊びの用意 (たらい バケツ じょうろ) などを用意しておく。 ・ 画用紙、折り紙などを十分に用意する。 	<p>配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安心できる声掛けをして、一人一人に寄り添う。 ・ トイレでの排泄は無理強いせず、成功したときは褒めて自信につなげていく。 ・ 意欲的に取り組めるような声掛けを心がける。自分でやろうと思う気持ちを大切にする。 ・ 安心して眠る事ができるように寄り添う。 ・ 子どもの思いを受け止め、嬉しい気持ちや苦しい気持ちを言葉にして代弁をしていく。 ・ 「おいしいね」「全部食べられたね」と食事が楽しくなる声掛けをする。 ・ 絵本、紙芝居の読み聞かせを通して言葉に触れる機会を設けていく。 ・ 保育士も一緒に裸足になり、遊びの楽しさを知らせていく。 	<p>取り組みの状況と保育士の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戸外活動の日、こまめに水分を摂るようになった。また衣服についても汗をかいた日、暑い日は、ツヤパーをして快適に過ごしているように心がけていった。 ・ トイレの排泄がスムーズに行なえるよう個々のペース (間隔) をつかみ、担任間で連携をとるようにした。 ・ 言葉があまり出ない児には、保育士が気持ちを代弁して、仲立ちをするようにしていった。 ・ 食事があまり進まない児には食事量を調節し、達成感が味わえるようにしてことで完食できる日を増やすことができて良かった。 ・ 活動の前には絵本等の読み聞かせをすることで楽しみにしてくれていて、集中してから次の活動に入るようになった。 ・ 1度あったが、3匹の感触を味わい、楽しむことができて良かった。嫌がる児もいるようになった。 ・ 体調の悪い児が多い日は、合同時間を遅めにする等、配慮した。
<p>延長保育 長時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異年齢の友だちと関わりながら、好きな遊びを楽しみ、安心して過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部屋を移動する際は、連絡ノート、オムツなど必要な物を持っていく。 ・ バスの子の準備をもれなくしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に楽しく遊べるようにそばで見守る。 ・ 伝達漏れのないように引継ぎをしっかりとる。 ・ 1歳児の様子により合同保育の時間を配慮する。 	